

(林内閣)

臨時租稅增徴法案並ニ創設稅法案ニ關スル意見

昭和十二年二月

國政研究會

中
群
圖
立
書
館
藏



6717

注意事項

- 資料は大切に扱きましょう。
- 資料は転貸借はお断りします。
- 15日間の期限に必ず返して下さい。
- 資料を汚損または紛失した時は同一の資料又は相当代価を弁償していただきます。

群馬県立図書館
前橋市日吉町一丁目14-8
電話 (0272) 3008番

昭和十二年二月

(林内閣)

臨時租稅增徴法案並ニ創設稅法案ニ関スル意見

國政研究會

目次

一 臨時租税増徴法案ニ関スル意見

二 創設税法案ニ関スル意見

(一) 法人資本税法案

(二) 外債債特別税法案

一

一三

一三

一六

昭和十二年五月二日

一 水産物課税増徴法案
二 輸入貨物課税法案
三 酒類課税法案
四 酒類課税法案
五 酒類課税法案
六 酒類課税法案

一 臨時租税増徴法案ニ関スル意見

緒言

法案ノ研究ニ付テハ賛成スヘキ條項又ハ實行上差支が無イト認メ
ラレル事項ハ便宜之ヲ省略シ賛成シ難イ條項ノミニ付修正又ハ削
除ノ意見ヲ述ベルコトトシタ

臨時租税増徴法案

所得税

第二條中「百分ノ五ヲ百分ノ十、百分ノ十ヲ百分ノ二十」トアル
ヲ「百分ノ五ヲ百分ノ八、百分ノ十ヲ百分ノ十六」ト改メ其下
ニ超過所得ニ對スル所得税ニ付テハ同條ニ規程スル税率「百分ノ
四ヲ百分ノ八、百分ノ十ヲ百分ノ十七、百分ノ二十ヲ百分ノ三
十」ヲ加フルコト

理由 増徴案ハ普通所得、清算所得ニ對シ突飛的ナ重課ノ建前ヲ採ラレタノデアアルガ一擧ニ倍額ト云フガ如キ重課ヲ行フコトハ産業ノ發達ヲ頓挫セシムル虞ガアルカラ追テハ兎ニ角差當ツテハ本案ノ如ク大割ノ程度ニ止メタイ但シ財政收入上已ムヲ得ヌ場合ハセメテハ割増徴ノ程度ニ止メルコトトシタイ又超過所得ニ對シテハ現行ノ儘据置キ増徴ヲ行ハナイノハ別途臨時利得税ヲ増徴スルカラソレデ良イト謂フノカモ知レ又ガ若シ其通りトスレバサウ簡單ニ片付ケル譯ニハ行カ又ト云フノハ超過所得ハ資本金額ニ對スル所得ノ利廻リが一割ヲ超過スル部分デアリ、臨時利得ハ現事業年度ノ利益ガ已往事業年度ノ（昭和六年以前三年間）ノ平均利益ニ對スル超過額ヲ指スノデアルカラ、利廻リが一割ヲ超過シテモ既往ノ利廻リがソレ以上デアれば超過所得ハアルガ臨時利得ハ無イ、又利廻リが一割以下デモ既往ノ利廻リがソレ以下デアレバ（年七分ヲ超エル分）臨時利

得ハ有ルガ超過所得ハ無イ、斯ノ如ク兩者ノ課税基礎ガ異ル爲メニ臨時利得税ノ増徴カケデハ課税ガ偏頗ニナル缺点ガアルト思ハレルカラ、其増徴ノ程度ヲ多少緩和シテデモ超過所得ニ對シテハ本案未成ノ程度ノ増徴ヲスルガ良イト思フ
仮リニ右ノ修正ガ行ハレルモノトスレバ臨時利得税ノ増徴ハ後ニ述ベル程度ニ緩和スルコト

第六條中

百萬圓以下ナル所得 所得税額ノ百分ノ六十
百萬圓ヲ超ユル所得 所得税額ノ百分ノ七十

トアルヲ

十萬圓ヲ超ユル所得 所得金額ノ百分ノ五十ト改ム

理由 増徴案ハ全額累進ノ方法ヲ採リ十萬圓ヲ超ユル所得ヲ二階級ニ分チ大割又ハ七割ヲ増徴スル結果、五百萬圓ノ大所得

者（^{現在デハ}）ニ對シテハ所得ノ半額以上ヲ取立テルコトトナルノデアアルガ（左表參照）、大所得者ト雖モ其内生活費々奢侈的消費ニ向ケラレルノハ其一部分デアツテ、大体ハ銀行預金ニ振向ケラレ又ハ産業ニ投資セラレテ經濟界ニ貢獻サレ、其結果ハ税源ノ涵養ニモナルノデアアル、ソレヲ財政收入ノ爲メトハ云ヘ餘リニ重課スルコトハ、産業ノ發達ヲ阻止シ延ヒテハ税源ノ涸渴トマデハ至ラヌニシテモ悪影響ヲ及ホスコトハ免レナイト云フ虞ガアル、ソレデ十萬圓程度ヲ超エル所得者ニハ本業ノ如ク増徴率ノ累進ヲ止メテ一率トシ尚率其モノヲモ緩和スルノガ急當デアアル

所得額	現行税額	増徴案ニヨル定率増徴合計税額	修正案ニヨル同上税額
五十萬圓	一〇四、九六五 <small>円</small>	一六七、九四四 <small>円</small>	一五七、四四七 <small>円</small>

七十萬圓	六十萬圓	五十萬圓	四十萬圓	三十萬圓	二十萬圓	十萬圓
一五四、九六五	二二九、九六五	四九九、九六五	七九九、九六五	一一二九、九六五	一四八九、九六五	一八一九、九六五
二四七、九四四	三六七、九四四	八四九、九四一	一、四五九、九四一	一、九二〇、九四一	二、五三二、九四一	三、一四四、九四一
二三三、四四七	三四四、九四七	七四九、九四七	一、一九九、九四七	一、六九四、九四七	二、二三四、九四七	二、九四七、九四七

相續税

第十條 相續税ニ付テハ課税價格ノ階級ニ從ヒ左ノ割合ノ税額ヲ

増徴ス

區分

増徴法案

修正案

課税價格一万円以下ナルトキ

相續税額ノ百分ノ二十

相續税額ノ百分ノ二十

三万円以下ナルトキ

百分ノ三十

百分ノ二十五

區分 増徴法案 修正案

課税價格五万円以下ナルトキ 相續税額ノ百分ノ五十 相續税額ノ百分ノ三十

" 十万円以下ナルトキ " 百分ノ八十 " 百分ノ三十五

" 十万円ヲ起スルトキ " 百分ノ百 " 百分ノ四十

理由 増徴案ハ前示ノ如ク課税價格ヲ五階級ニ區分シ現行税率ノ二割乃至百割ノ増徴ヲ行フノデアアルガ、試ミニ課税價格ノ多大ナルニ、三ノ階級ニ付テ増徴シタ場合ノ結果ヲ觀ルニ(別表参照) 家督相續ニ於テ最低税率ヲ適用スル第一種(相續人ガ直系卑族ナルトキ)ノ定率、増徴合計税額ハ課税價格五百万円ニ對シテハ二割餘、千万圓ニ對シテハ二割三分餘、五千万圓ニ對シテハ二割五分餘ニ當リ、又遺産相續ニ於テ最高税率ヲ適用スル第三種(相續人ガ直系卑族、配偶者、直系尊族以外ノ者ナルトキ)ノ定率、増徴合計税額ハ課税價格五百万圓ニ對シテハ三割四分餘、千万圓ニ對シテハ三割八

分餘、五千万圓ニ對シテハ四割一分餘ニ當ルノデアアル、試ミニ課税價格五千万圓中ノ一割ハ無收益財産トシ、九割ヲ收益財産ト見テ利廻リヲ平均年四分五厘(高ツク見)トシテモ所得額ハ二百二萬餘圓デアリ、其七割ハ所得税其他ノ租税公課、生活費等(内端ニ見)ニ充テ殘餘ハ六十萬圓ニ過ギ又、一面最低税率ヲ適用スル家督相續第一種ノ税額ハ千二百七十餘萬圓デアツテ、ソレガ仮リニ増徴法案第十一條ニ依リ十ヶ年賦ノ延納ヲ許サレルトシテモ、年割税額ハ百二十餘萬圓トナルノデアアルカラ所得ノ殘餘デ八年々六十餘萬圓ノ不足ヲ告ゲ、元本ヲ處分スル外ニハ納税ノ財源ハ無イコトトナルノデアアル。其上ニ低金利ノ現時ニ於テ四分五厘ノ利廻リハ六ヶシイト見ルベキデアアルカラ、實際上ハ元本ヲ侵蝕スルコトガ一層強クナルト思フ、ソコデ増徴法案ガ社會政策的見地カラ相續ニ依リテ富

ノ集中ヲ抑制シ、貧富ノ懸隔ヲ緩和スル旁ラ歳入ノ增收ヲ圖ル目的ニ立脚シタモノトシテ、果シテ其目的ガ達シ得ルハト云フニ、大資産者ノ所得ハ形式的ニハ多額デアツテモ其大部分ハ納税、投資、使用人等ヘノ分配ニ當テラレ自身ノ消費スルハ小部分ニ過ギ又ノデアツテ、經濟界ノ發展又財政上ニ於ケル租税ノ收入又ハ公債ノ應募等ニ貢獻スル所ガ多大デアル然ルニ其所得ノ全部ハ勿論元本迄モ侵蝕スル程ノ取立ヲハレバ所得ノ源泉ヲ侵スガ爲メ納税額ハ減ジ投資ハ不可能トナリ、無産勤勞者モ地位ヲ失フ者ガ出ルヤウニナリ、結局社會政學的見地ニ於テモ財政收入ノ点カラ見テモ不得策タルニ終ルト云ハネバナラヌ、又我國ノ良風美俗タル家族制度ヲ維持スル上カラ、家ニ屬スル財産ヲ破壊スルコトハ健全ナル社會ノ基礎ヲ危フカラシメル虞ガアル、右ノ如キ見地ニ於テ本税増徴

ハ仮令暫定的デアルトシテモ成ルベク之ヲ緩和シセメテ前示ノ程度ニ止メタイ

相続税附屬表

遺産相續	現行税額			増徴案			修正案		
	第一種	第二種	第三種	第一種	第二種	第三種	第一種	第二種	第三種
五百萬	五六一〇五	五六五四五	六六四七九	一〇三二、二〇	一、三〇、九九	一、三三九、五八	七七二、五四七	七九一、六九三	九三〇、七〇六
千 万	一、六六〇、五	一、三六五四五	一、四四七九〇	三、三三三、一一〇	二、五三〇、九九〇	二、九二九、五八〇	一、六三三、五四七	一、七七二、六九三	二、〇五〇、七〇六
五千 万	六、三六六、一〇五	六、六八六、五四五	七、八六四、七九〇	一、二七三、三二一	一、三三三、九九〇	一、五七三、九五八	八、九二二、五四七	九、六二二、六九三	一〇、一〇一、七〇六
遺產相續	千 万	七、四六四、八	七、六四四、三	八、六四二、七	一、四九九、三九六	一、五八八、九六	一、七三三、五四四	一、〇〇〇、五〇七	一、二〇九、九八〇
千 万	一、六四六、八	一、七四四、三	一、九一四、二七	三、三二九、三九六	三、四二八、九六	三、八二八、五四四	二、二六〇、五〇七	二、四〇〇、三三四	二、六七九、九八〇
五千 万	八、八四六、八	九、三三四、五三	一〇、三四二、七	七、六三九、三九六	八、六三八、九六	一〇、六二八、五四四	一、三三四、五〇七	一、三三四、五〇七	一、四四三、九八〇

第十九條「税率」ノ下「百分ノ十ヲ百分ノ十五、百分ノ八ヲ百分ノ十」トアルヲ「百分ノ十ヲ百分ノ十三、百分ノ八ヲ百分ノ九」ト改ム

理由「所得税ノ部」ト述ベタ通デアル

右ノ外増徴法案ニハ関係ハ無いガ増徴ノ序デニ改正シタイ事項ハ
所得税

現行税法第十六條中扶養家族、癱疾不具者控除ニ関スル制限（總所得三千圓以下）ヲ撤去シ總テノ所得ニ之ヲ適用スルコトニ改ムルコト
右改正ノ理由ヲ述ベルニ先タチ一言シタイノハ本法案ハ租税ノ増徴ヲ標榜スルニ拘ラズ新ニ國債利子ニ本税ヲ課シ、礦業税ニ於テ金銀鑛ニ鑛産税ヲ課スコトトナツテ居ル、ソレハ外トノ均衡ヤ歳入増加ノ必要上差支無イトシテモ、歳入増加ノ方面ノミニ眼ヲ注ガズニ、税法ノ缺陷ニヨリ不公平ナル負擔ニ苦ンデ居

ル上、其儘今回ノ増徴ガ降り來ツテハ其苦痛ガ一層深刻ニナルト認メラルル事項ニ付テハ仮令暫定的デアルトシテモ、一時改正シタル上増税ノ負擔ニ任ゼシメルノガ穩當ト考ヘル、其事項ヲ舉ゲレバ相當多カラウガ差向キ前示ノ改正タケデモ實行スルが良イ

元來單身納税者ノ場合デモ家族ノ多イ納税者デモ免税点ガ千二百圓ト云フコトガ不合理デアルガ、ソレハ立法上已ムヲ得ナイトシテ、本條ノ規定ハ總所得ガ三千圓以下デアレバ仮令扶養家族ヤ癱疾不具者ガ一人ノ場合デモ控除ノ取扱ヲ受ケ、三千圓ヲ僅カデモ超過スレバ扶養家族、癱疾不具者ガ何人有ツテモ控除シナイト云フコトガ甚シキ不公平デアル、其結果總所得ガ三千圓ヲ僅カニ超過シテ控除ノ取扱ヲ受ケラレ又爲メ、同數ノ扶養家族アル三千圓ノモノト比較シ税引手取金額ガ却テ少クナルノ

ニ、今回ノ増税ニ因リ其差額ハ一層甚シクナルノデアアル、本件ノ外ニモ勤勞所得控除ノ規定ニ同様ノ缺陷ガアルガ、ソレハ總所得一萬二千圓ヲ超ユル者ニ関スル問題デアツテ税法改正ノ時マデ其儘トシ差當ツテハ本條ヲ改メテ少額所得者ニ係ル救済ダケデモ實行スルコトニシタイ。

ニ、創設税法案ニ關スル意見

(一) 法人資本税法案

第十一條中 質問ノ下「ヲ爲シ又ハ其帳簿物件ヲ検査スコトヲ得」ヲ削除スルコト

理由

本案ノ如キ規定ヲ設ケアルハ直接税デハ特ニ營業收益税法ダケデアツテ外ニハナイ、ソコデ本法及外貨債特別法等ニ同一規定ヲ設ケタノカラ推シテ觀レバ、將來税制ノ整理ヲ行フ場合ニハ所得税法其他ノ直接税法ニ迄モ同様ノ規定ヲ設クルノ準備デアルト推測シ得ルノデアアル、ソレガ廣田内閣ノ税制整理案ト同様ノ立案ヲ爲スモノト見レバ、納税者及納税義務アリト認ムル者ハ勿論之等ト金錢授受ノ關係アリ又ハ關係アリ

ト認ムル第三者ニ對シテモ、検査ノ範圍ヲ擴張スルコトニナ
ルモノト豫定シテ其影響ヲ考ヘテ觀ルニ帳簿物件ノ検査ヲ徹
底スルニハ極端ノ場合ハ家宅搜索ヲモ爲シ得ル權能ヲ稅務官
吏ニ與ヘルコト、解釋サレルノデアアルガ、現行營業收益稅法
ノ規定ハ検査ノ範圍ヲ營業者ノミニ止メ非營業者ニハ及バヌ
ノデアアル、立法者トシテハ稅法ノ執行ヲ徹底スル爲ニハ、ソコ
マデ行ク必要ガアルト言ハレルデアアラウガ納稅者及之ト金錢授
受ノ關係アリ若クハ關係アリト認ムル第三者マデヲモ、動モス
レバ刑事被告人ト同様ニ觀察シテ、下級官吏ニ強制検査ヲ行
ヒ得ル權能ヲ附與スルコトハ危險極マル立法デアツテ、血氣
ニ任セテ職權ヲ亂用シ夫レガ爲ニ官民間ノ摩擦ヲ起シ易ク、
却テ稅務ガ圓滑ニ行ハレ難クナリ勝デアリ、又一面ニハ情實
上言フニ言ハレヌ弊害ヲ惹起シ易クナル虞ガナイトハ保証ハ

出來ヌ

以上ノ理由ニ由リ差向キ本條ニ付テハ本案ノ如ク修正スルノガ
穩當デアアル

第十九條 削除

理由

第十一條ノ違犯者ニ對スル制裁規定デアアルガ同條ヲ修正スル
場合ハ本條ハ無用トナルノデアアル

(二) 外貨債特別税法案

第五條ヲ左ノ通修正スルコト (別表参照)

外貨債特別税ハ外貨債利子金額ヲ左ノ如ク區分シ各税率ヲ適用シテ之賦課ス

一、國債

利率五分五厘ノモノノ利子 百分ノ六

〃 六分ノモノノ利子 〃 八

〃 六分五厘ノモノノ利子 〃 十

二、其他 外貨債

利率六分ノモノノ利子 百分ノ六

〃 六分五厘ノモノノ利子 〃 八

〃 七分ノモノノ利子 〃 十

理由

政府ハ國債ニアリテハ利率年五分以下、其他ノ外貨債ニアリテハ年五分五厘以下ノモノハ非課税トシ、之ヲ超ユル金額ノ十分ノ七ヲ徴收スル特種ノ累進率ヲ適用スルコトトシ、黃田内閣ノ立案ニ係ル免税点ノナイ極端ナル金額累進率ニ對シテハ餘程緩和シタノデアルガ、ソレデモ實際上ノ税率ヲ算出スレハ國債利子ニ對シテハ百分ノ六強乃至十六強、其他ノ外貨債利子ニ對シテハ百分ノ五強乃至十五ト云フ金額累進率ニ當ル爲ニ、各階級ノ税引手取利廻リが著シク接近シ、利率ノ高イモノホド不利ノ結果ヲ負フ爲ニ、其取引相場ハ利率ノ高イモノホド多ク下落スルノハ明カデアル、ソレガ額面金額ヲ買入レルカ又ハ最初ニ應募シタノデアレバ未ダシモデアルガ、利廻リヲ計算ノ基礎ニ置キ額面以上ノ價格ヲ買入レタモノノ

受ケル損失ハ相當大キナモノトナルデアラウ（別表参照）
ソレデ本税ガ物税タルコトハ論ヲ俟タ又上、他ノ内國債及内
地デ利子ヲ支拂フ公社債ノ利子ニ對シテハ、資本利子税及第
ニ種所得税共ニ比例税率ヲ適用シテ居ルノニ、本税ニ限り前
述ノ如キ強イ累進率ヲ適用セネバナラ又理由ガ分ラヌノミデ
ナク、ソレガ為ニ外債債ノ所有者ニ不平等ナ損失ヲ被ラシメ
ルコトハ甚タ不穩當デアアルマイカ、尤モ絶對ニ比例税デナ
ケレバナラ又理由モアルマイカラセメテ本案ノ程度ニ緩和ス
ルノガ良イト思フ

第十條

帳簿物件ヲ検査スルコトヲ得ルノ規程ヲ削ルコト

理由

法人資本税ニ於テ述べタト同ジデアル

第十一條

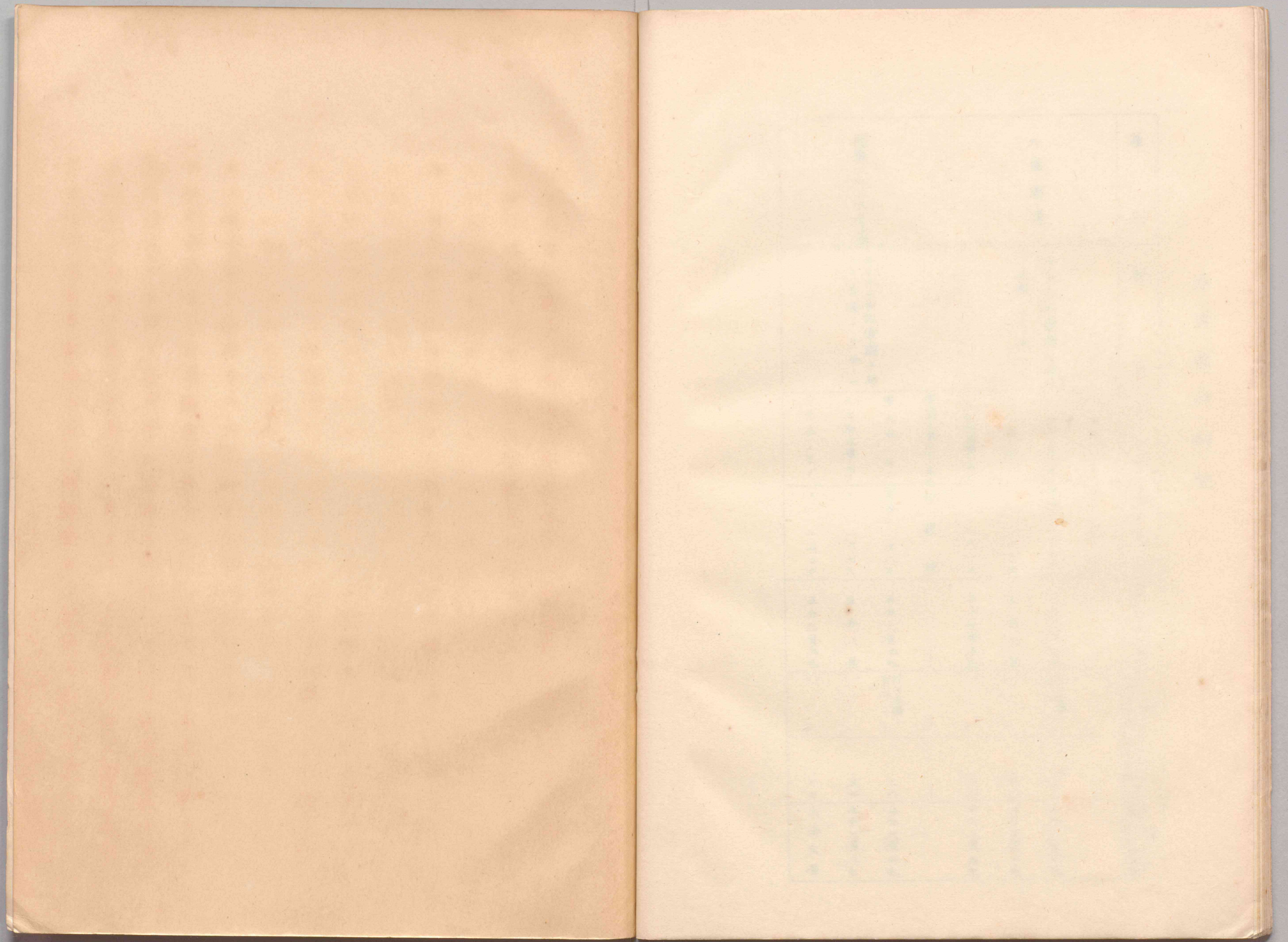
ヲ削除スルコト

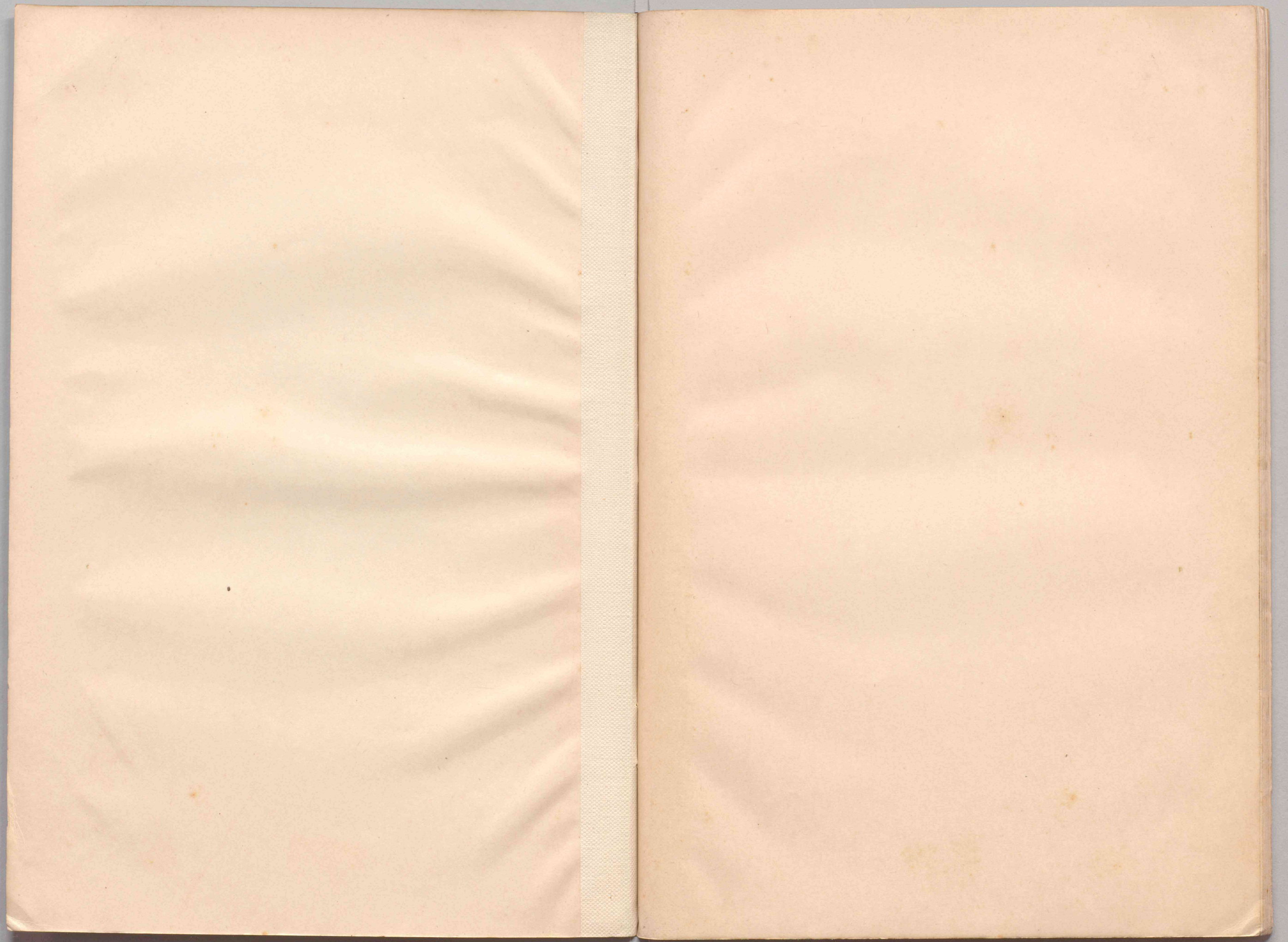
理由

第十條改正ノ結果デアル

外貨債特別税

種別	税	利率	算出税率	税引手取利息	税率	正	案
外貨國債	年五分相當額ヲ超ユル金額ノ十分ノ七	年五分以下 五分五厘ノモ 六分ノモ	非課税 六三六 一六六	五分一厘五毛 五分三厘	利子金額 百分ノ六 八	円 三三 四八	五分一厘七毛 五分五厘二毛
國際以外ノ外貨債	年五分五厘相當額ヲ超ユル金額ノ十分ノ七	年五分五厘以下ノモ 年六分ノモ 六分五厘ノモ 七分ノモ	非課税 五八三 一〇七六 一五〇〇	五分六厘五毛 五分八厘 五分九厘五毛	利子金額 百分ノ六 八 十	三六 五二 七〇	五分六厘四毛 五分九厘八毛 六分三厘





國政一新

群馬県立図書館



0706717-6